

見える子も見えない子も同じ絵本でみんな一緒に

ユニバーサル絵本ライブラリー UniLeaf (三浦郡葉山町)

イギリス発祥のこのユニバーサルデザイン絵本は、市販の絵本を解体し、本文を点字化したシートを見開きごとに挟んで再製本したものだ。絵本をそのまま生かし、見える子も見えない子も一緒に楽しむことができます。「ユニバーサル絵本ライブラリー UniLeaf」では、日本で唯一、この絵本の製作と貸し出しを行っています。

代表の大利栄子さんがこの絵本に出会ったのは平成20年。全盲の我が子が地元の小学校に通いながら、盲学校で学ぶ内容―点字や歩行、触る技術などを学ぶため、親子で共に国立特別支援教育研究所に通っていた頃でした。研究所の先生が「イギリスで知ったこの絵本はとても良いものだけど、日本での制作・普及の担い手がいない」と話すのを聞き、「これまで学んだことを生かせるのであれば、やってみようかな」と思ったそうです。絵本の実物をイギリスから取り寄せ、先生の指導を仰ぎながら試行錯誤が始まりました。



常にシートの左上から見開きの文章を上から点字で打つ。こうすることで、まだ点字に慣れていない子も、場所を探さなくて済み、物語そのものを楽しめる



内容の理解に欠かせない絵は、専門家の指導を受け、シールを重ねて貼って形を表現している



パソコンで入力し、点字に変換された文章を、右側の機械でシートに出す



誰でも知っている、ロングセラー、ベストセラーを中心に選書。大きさも形もいろいろ

ユニバーサル絵本ライブラリー UniLeaf
URL <http://unileaf.org/>

我が子の卒業後、同じ小学校に全盲の子どもが入学し、試作したユニバーサル絵本を教室で使ってもらったところ、大変好評を得ました。その後、県ライイトセンターの乳幼児の集まりや、県内の視覚障害児施設で紹介すると、口コミで評判は広がっていきました。製作は全てが手作業で、1カ月で5冊作るのが精一杯でしたが、企業の支援を得て、文章の入力からシートへの点字の打ち込みが機械でできるようになると、年間200冊作れるようになり、現在、

蔵書は750冊を越えています。「盲学校は遠く、習い事もきょうだいと一緒に受け入れてもらえないなど、視覚障害の子ときょうだいが時間や経験を共有するのは困難で、家族でさえ見えない・見えないで分離されがちです。でも、この絵本なら一緒に楽しめ、それがきっかけで見えるきょうだいも点字を学ぶようになったということも聞きます。環境があれば子どもは自然に交わり、頭ではなく体で理解する。そのツールとしてこの絵本があると考えます」と大下さんは語ります。

今年度は全国66の全ての盲学校に絵本を寄贈紹介する活動に取り組んでいます。今度は身近な地区センターなどで、絵本を展示紹介し、「みんな一緒に」を知って感じてもらいたいと考えているそうです。

(企画調整・情報提供担当)

医療・福祉界の健全発展に資することが私たちの使命です。

医療・福祉業界の皆さまが抱える様々な問題の解決に向けて、経営コンサルティング・税務会計・会計監査などのサービスを総合的に提供できる体制を整備しております。

- ◆ 福祉経営・医療経営コンサルティング
- ◆ 福祉施設・医療機関への人事コンサルティング
- ◆ 福祉施設・医療機関に特化した税務会計・代行
- ◆ 福祉施設の第三者評価事業 など

福祉施設の皆さまが地域のニーズに応え、時代や政策に適切に対応できるようご支援します。お気軽にご相談下さい。

～ おかげさまで 50 周年 ～



川原経営グループ
株式会社川原経営総合センター
税理士法人川原経営



〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35 御殿山トラスタワー9 階
TEL (03) 5422-7670 E-mail: info@kawahara-group.co.jp
URL: <http://www.kawahara-group.co.jp/>

セミナーを開催いたします!! 【お問合せ先】 ☎ 03-5422-7348 担当: 渡辺
12月1日(金) 13:30~17:00 社会福祉法改正に伴うガバナンスの強化について考える
12月5日(火) 10:00~18:20 介護施設経営者のための「経営セミナーシリーズ」

「福祉タイムズ」は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています